

# 道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成30年8月14日(地域版第6号)

校長 益田 孝彦 875-9494

## ◆◆ 猛暑や台風など天候は落ち着きませんが、この夏休み、いかがお過ごしですか？ ◆◆

私は、葉桜自治会のお祭りや葉山小学校でサイエンスショーを披露することができました。また、長柄小・南郷中合同避難所運営委員会において、長柄小と南郷中の避難所案内冊子原案を作成し、最終チェックをしていただいている所です。完成しましたら、学校だよりにてお知らせして、長柄小と南郷中の学校HPにて掲載予定です。もうしばらくお待ちください。

## ◆◆ 2学年FGC体験学習発表会が催されました。 ◆◆



7月3日の5・6校時、2学年によるFGC体験学習発表会が開催されました。6月20日の体験学習当日指導して下さった各団体の指導者の方々や、2学年保護者もお迎えして、プレゼンテーション資料を活用しての発表会となりました。山楽会や古墳を守る会や文化財研究会など、複数のグルー

プがある場合、学習した内容に重複が見られることは避けられませんが、それぞれ印象に残ったところや、気づきに差があり、各班オリジナルのプレゼンを作成していました。発表を聞いている生徒の様子は、私語もなく、一生懸命聞いて評価しようとしていた点はとても良かったと思います。FGC活動の深まりを求め、今回の気づきや学んだことを深めることができるような組み立てをさらに検討してみる価値はありそうに思いました。それにしても、貴重な学習機会を提供下さる、地域の方々の南郷中学校への協力姿勢に、改めて感謝申し上げます。

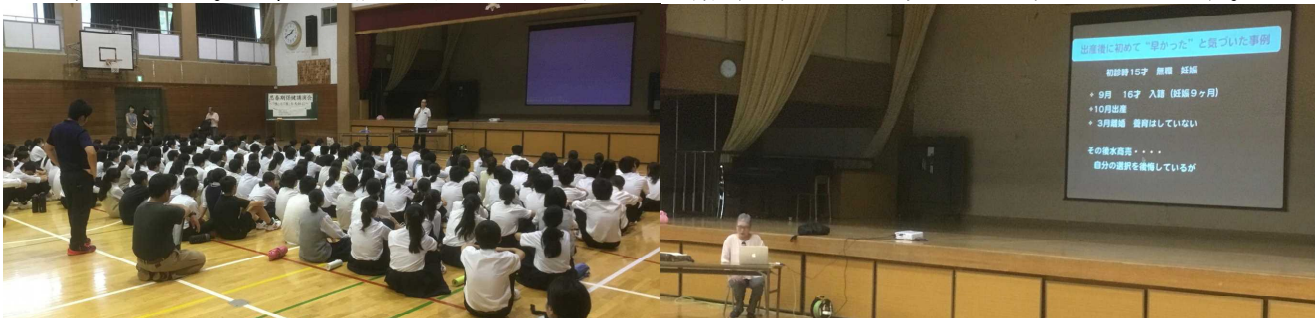
## ◆◆ 思春期保健講演会を2学年・3学年対象に行いました。 ◆◆

7月5日(木)の5・6時間目、思春期保健講演会「性と生を大切に」を開催しました。

日本という国柄なのでしょうか、ご家庭でお子様と面と向かって話し合ったり、話題に取り上げたりすることが少ないのが、性に関わる問題です。とても重要な話なのに、なぜか触れられないため、無知から来る大きな誤りが生じているのも見逃せない事実です。

南郷中学校では、子ども育成課の支援を受けて、2年に1度開催することで、生徒全員で一定の知識を学べるよう配慮しています。講師の、今井先生(今井ウイメンズクリニック院長)から、子宮頸がんの実際と、予防ワクチンがあることなど、大切なお話を伺いました。

また、後段では、助産師の村川さんからは、出産までの過程と、今の中学生・高校生世代で妊娠してしまうと、どんな現実が襲ってくるか例を挙げて説明いただき、避妊の方法と意味合いをしっかりと学びました。生徒に真剣に語りかけて下さった講師の先生方に改めて感謝申し上げます。



## ◆◆ 同じ7月5日(木)の6校時、1学年は「スマホ・ケータイ安全教室」を受講しました。 ◆◆

1学年は、視聴覚室にて、サイバー犯罪の被害者・加害者にならないための、情報教育を警察の方から受講しました。ロックを解除するパスワードが分かると、本人が知らないところで、本人を語って(なりすまして)悪口等を書き込んでしまうドラマ等を視聴しながら、「こんなことをしても大丈夫だろう」という軽い気持ちで行った行為が、犯罪になっていくことを学んだり、違法ダウンロードから、ウイルス感染し、コンピュータの中の情報が流出することなどを学んだりしました。スマホが日常的なものになり、きちんと自覚していないと被害者にも加害者にもなっていく世の中です。正しい知識と知恵を身に付けていくことが大切だと改めて感じさせられました。

◆◆ 三学年の「平和文集」が完成し、読ませていただきました。 ◆◆

実は、私自身がまだ広島を訪ねたことがないので、皆さんの作文を通して、今すぐにでも行かなければいけないと強く感じました。それほどまでに、一人ひとりの作文は、広島訪問を通し、真剣に「『平和』ってどうすれば達成できるのだろう」、「本当に戦争や核兵器の怖さが分かっているのだろうか」、「日本中・世界中の人に広島に来て欲しい、怖さを知って欲しい」等々、綴られていました。色々安全には配慮した修学旅行でしたが、意味のある学習を修めてきてくれたことを嬉しく思いました。8月6日には私自身広島に思いを寄せる一日になりました。生徒の作文については、全て紹介したいのですが、今回は私が選んだ、3人の作品を紹介します。

この先僕らができること 3C

原爆、それは人間と共存できない兵器であり、広島・長崎の地に被害を与えました。それらの展示館・資料館に行くと、資料で見るだけではわからない叫び、想いが伝わってくるような気がして空気も重苦しかったです。実際に行き、学ぶことこそが大切だということがわかりました。また、当時から残っている建造物は、外見は白またはこげた色になっていましたが、そこに関わる話を聞くと市民同士の助け合いの輪が見えてきました。

原爆の恐ろしさを実際に行き、知る。仲間たちと助け合うことで、僕は平和の灯を消す\*ことができる日が近くなると思います。平和の灯を消すことが願いだとガイドの方はおっしゃっていました。僕らもその灯を消すためにはどうすればよいか日々考えていき、後世に伝えていきたいと思っています。

※核が世界から無くなったとき灯が消されると、多くの生徒が作文で伝えてくれました。

知らなかった真実 3A

広島で原爆ドームに行き、今まで知らなかった戦争の真実を多く目にしました。今まで怖い、怖いと言いながら見ていたものをはるかに越える、残こくで、悲惨な写真や物が沢山置いてあり、強い衝撃を受けました。

今までみなさんは実際に戦争の怖さを目の当たりにしたことはありますか。私は中学三年生になり初めて戦争の怖さについて深く知ったのです。これが自分の意識が無いだけなのか、住んでいる地域も少しは関係しているのかは分かりませんが、もっと戦争について知るべきだと思いました。また戦争について知るだけでなく、戦争について話せる人になりたいなと思いました。そして、今の若者は平和ボケするのではなく、一人一人が平和のありかたを考えるべきだと思いました。

平和な世界をつくるために 3B

領土問題から始まった人類の無差別的殺人。被害を受けていたのはいつも戦争を起こした人達でなく、国民でした。中学校の平和学習では、第二次世界大戦についてや、原爆による被害についてを学びました。私はそれを学んで、昔はいつでもお金のある人が権力を持ち、お金の無い人達は苦しめられていた。ということがわかりました。

原爆資料館にあった「核兵器禁止条約署名」のところに、私は署名しませんでした。なぜなら、正しい知識を身につけてから、署名をするべきだ、と思ったからです。署名していた友達も何人かいましたが、核を知ることは、平和を考えることにもつながる、と思いました。「核の傘」や「核抑止論」などもあります。戦争が二度と起こらないためには、もう同じ過ちを繰り返さないためには、どうするべきかを、考えていきたいと思いました。

◆◆ 不審者情報がありました。 ◆◆

7月13日(金)朝7時10分頃、朝練に登校途中の本校女子生徒が、長柄東駐在所からまっすぐ直進した住宅地の端にある、葉山ステーション上側の坂道に出る階段で、不審者(男性)と遭遇しました。すぐに逃げて無事でしたが、もしかしたらその男性は、離れたところから車で乗りつけて来た可能性があるようです。南郷中生徒には気をつけるよう指導しましたが、登下校時に限らず、不審者には警戒するよう、保護者の方々もお子様へのご指導よろしくお願い申し上げます。

◆◆ 夏休みもあと半分になりました。生徒の無事をこのあとも見守り下さい。 ◆◆

交通事故・水難事故・不審者情報・熱中症などなど、今夏の生徒を取り巻く状況は、例年にもまして過酷なものになっています。夏休みを終えて、生徒全員が元気に登校できますよう、地域の方々の見守りを引き続きお願い申し上げます。皆様も健康にご留意なさりお過ごし下さい。